

◆期末更新方法（新規更新）の操作手順（平成 20 年施行領域）

（画面例はすべて『PCA 公益法人会計シリーズ バージョン DX』を使用しています）

新年度のデータを入力したい場合は、「ファイル」－「期末更新処理（新規更新）」を行ってください。『PCA 公益法人会計シリーズ バージョン DX』では、1 年度ごとにデータ領域を作成します。新年度のデータを入力したい場合は、「期末更新処理」を行ったうえで、「ファイル」－「データ領域の選択」にて、処理したい会計期間を選択してください。

「期末更新処理（新規更新）」を実行すれば、勘定科目等のマスターを設定し直す必要はありません。この処理を行うことにより、前年度の「前準備」で設定した各種マスターの他に、残高も新年度領域の期首残高へ反映されます。

※ 前年度のマスター・残高を反映させたくない場合は、「ファイル」－「データ領域の作成」にて、新年度領域を作成してください。

●新年度領域に反映される内容の詳細は、マニュアル（操作編 I）の「ファイル－期末更新処理－ご参考（内部処理）」をご覧ください。

【操作手順】

- ① 作業中のトラブルに備え、「ファイル」－「データ領域のバックアップ」を実行します。
- ② 「ファイル」－「期末更新処理」を起動します。
[新規データ領域に更新する（新規更新）] を選択してください。



- ③ 更新先領域を選択後、[消費税の更新方法] を [税抜更新] または [税込更新] から選択してください。

[税抜更新] [税込更新] は、会社の経理方法に合わせて選択してください。

一つの目安として、決算整理仕訳に仮受消費税等、仮払消費税等の相殺仕訳を入力し、税抜の決算書を作成している場合は [税抜更新] を選択し、免税事業者などで仕訳を税込で処理している場合は、[税込更新] となります。

- ④ [キャッシュ・フロー科目残高の更新方法] を [直接法優先] または [間接法優先] から選択
キャッシュ・フロー計算書を作成されている場合、使用している様式に沿って選択してください。

未使用の場合はどちらを選択していても問題ございません。

また、「前準備」－「収支・キャッシュ・フロー科目の設定」で直接法・間接法の両方とも設定している場合は、どちらを選択しても結果は同じです。

- ⑤ [その他の設定] の項目は、必要に応じてチェックを付けるか付けないかの選択をし、[実行] ボタンをクリックします。

- 期首残高に対する内部取引消去額を更新する
- 注記データを更新する
- 附属明細書データを更新する

- ⑥ 以下のような画面が表示されましたら内容を確認し、よろしければ [OK] ボタンをクリック、中断する場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

更新内容	新規更新
更新元情報	P20V01C001PSC0008 0001 ビー・シー・エー協会 第1期 会計期間 2021年 4月 1日 ~ 2022年 3月31日
更新先情報	新規領域

上記の内容で更新します。よろしいですか？

OK(F5) キャンセル

以下のような画面が表示されましたら処理は完了です。

期末更新処理が完了しました。

更新先領域	P20V01 C001 PSC0009
法人コード	0001
法人名	ビー・シー・エー協会
会計期間	2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

OK

【注 意】

期末更新処理が完了した段階では、データ領域は前年度が選択されています。新年度の入力を始める前には、「ファイル」－「データ領域の選択」にて、新年度を選択してください。

また、前年度と新年度の入力を並行して行うこともできますので、その場合も「ファイル」－「データの領域選択」にて、処理したい会計期間を選択してください。

コード^	法人名
0001	ビー・シー・エー協会

処理期間(A):

会計期間 ^	決算期数	会計基準	データベース	バージョン
2021/04/01~2022/03/31	第1期	平成20年施行	P20V01C001PSC0008	1.7
2022/04/01~2023/03/31	第2期	平成20年施行	P20V01C001PSC0009	1.7